



ご家族が、ある場所に新築を建てようと思う場合、そこで実現したい様々な要望があるはずです。
また、土地の広さや形、周囲の環境によって、様々な解決すべき課題が出てきます。

👑 オルタスクエアの強みは設計力です！

敷地面積が小さくても広く住まえる設計

鶴見区 F 邸 (2023 年 11 月築)

敷地面積 68.53 m² (20.73 坪) 延べ床面積 68.53 m² (20.73 坪)

ご夫婦と娘さんの 3 人家族。眺望の良い高台に建つ軽量鉄骨の家は築 40 年以上経過し、色々と傷みが出ていました。敷地には駐車場スペースの余裕もなく、そのため、建て替えよりもマンション移住をご検討。しかし、土地の眺望が捨てがたく、オルタスクエアに設計の相談に来られました。

オルタスクエアの案は、家族 3 人それぞれにウォークインクローゼット付きの個室があり、駐車場も備わっているプランでした。そこで、本格的に打ち合わせが始動。花粉が飛ぶ季節用には、室内干し空間の提案。キッチンには便利な収納工夫が取り入れられるなどし、新しい住まいが完成！！



以前にはなかった駐車場が実現



洗濯物を室内に干すための半透明目隠し引き戸



2 階のダイニングキッチン

家族みんなが楽しい二世帯住宅の設計

相模原市 Ts&Ta 邸 (2020 年 12 月築)

敷地面積 278.46 m² (84.23 坪) ・ 1 階床面積 78.77 m² ・ 2 階床面積 72.11 m²

長年マンション住まいだった、Ts さんご夫妻。近所の賃貸マンションに娘さん家族が生まれ、お孫さん二人がよく遊びに来ていました。娘さん家族が戸建てを考え始めた頃、Ts さんご夫婦は古い水廻り設備などの大規模改修を考えており、「それなら二世帯住宅にして一緒に住もう」と！オルタスクエアの住宅見学会で「中庭のある家」をととても気に入り、それを骨格としたプランづくりが進みました。

DIY 工作が大得意なご主人のワークスペース、夜勤で遅くなることもある娘さんの旦那さんのための休憩室や PC スペースも備わりました。

● ● 娘さん談 ● ●

『この家に住んでから下の子のおなかの調子が良くなり、びっくりです。

自然素材の力かも知れませんが、1 階の両親の住まいへ階段で行き来したり駆け回ったりして、運動量が増えたのがよかったかも知れません。』



収納上手な奥様アイデアが活かされた 1 階キッチン



2 階のお嬢さんご家族の LDK. 中庭空間で視界が広がります



中庭ウッドデッキにはお孫さん用ブランコ設置

前面道路よりも高い敷地で外階段を登らずにすむ安心設計

緑区 N 邸 (2005 年 8 月築)

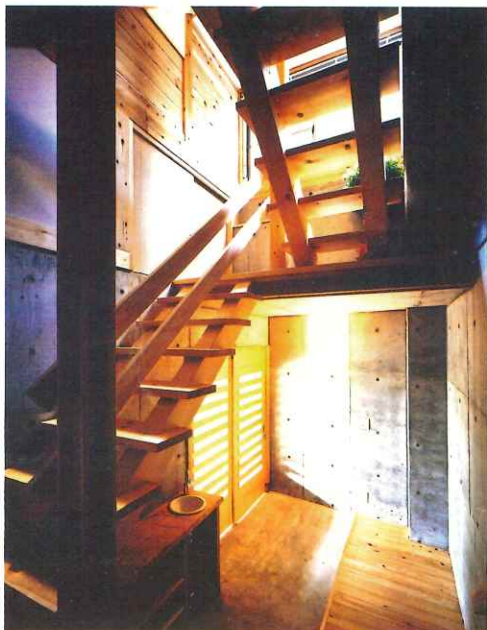
敷地面積 119.05 m² (36.01 坪) 延べ床面積 138.25 m² (41.28 坪)

N さんご家族はご夫婦と息子さん 3 人の 5 人家族。ご主人の勤務地近くへ移住をご希望で、当社仲介で緑区の古屋付き土地を購入され、当社設計での建て替えのご依頼をいただきました。

敷地位置が前面道路よりも高く、通常なら家に入るために外階段が必要ですが、設計の工夫で、道路高さの駐車場内から室内に直接入れます。

駐車場奥の引き戸を開けると、緩い木の階段が 1 階・2 階に上がっていきます。

1 階北側を吹き抜けのリビングダイニングとし、屋根から自然光を取り込みました。





自然素材を活かしたリフォーム（相模原市 M 邸）

築 54 年の集合住宅を『木と漆喰の住まい』にしました。

1969 年築の集合住宅 1 階にお住いの M さんから、リフォームのご相談をいただきました。湿気が多く室内のあちらこちらや押し入れの中などが傷んできたとのこと。調査とお打ち合わせの結果、浴室を除く全室について壁と天井に漆喰を塗り、床はトイレ・洗面室を除いて杉の無垢材を張ることにしました。

リフォームが終わってみると、以前は冬のあいだ窓の結露が大変だったのに、工事後の冬に結露したのは 2 回だけだったそうです。窓の結露対策は通常窓断熱を行います、木と漆喰の調湿の力だけでも大きな成果が出ました。

after



before



after



✳️旧和室とダイニングをつないで広い空間をつくりました。壁天井に断熱材も入れて、結露を抑える力を高めています。



●旧和室 東側を向いている壁部分で結露とカビが発生していました。



●旧玄関 壁に接する廊下の床の下地が傷み、お施主さんが DIY で上から塞いでいました。



✳️玄関廊下 漆喰の壁天井と杉材の床で明るい廊下となりました。

オルタスクエアの住まいの点検メニュー

1 屋根 ○有料点検 税込み 9,900 円



専門の知識と経験を持つ屋根担当が屋根の状態を調べ、写真とともに報告書をお出しします。

2 床下 ○有料点検 税込み 8,800 円



床下点検



月桃の花

シロアリの被害が見つかった場合は、沖縄の植物「月桃」の成分で防除を行います。

✳️シロアリ防除に普通に使われている殺虫剤の中には、深刻な危険性を持つものがあります。できるだけ合成殺虫剤の使用を避けましょう。

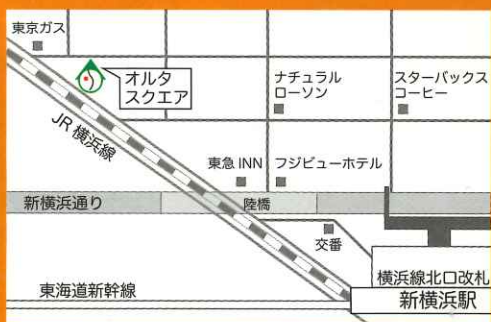
3 オルタスクエアの耐震診断

昭和 56 年（1981 年）よりも前に建てられた住宅は、自治体補助による耐震診断を受けられますが、多くの場合診断数値は悪くなるため、住んでいる人は多くの場合不安になります。数値を高めるための耐震工事は高額になることが多く、悩むケースがしばしばあります。

オルタスクエアの耐震診断は、必要最低限の対策工事、数値が基準以下でも生活上の工夫のできる対策など、話し合いながら、確認していきます。費用は税込み 88,000 円です。



床下から筋交い状況などを確認



✳️JR 横浜線の線路沿いです

生活クラブの家づくり
オルタスクエア 株式会社

https://www.a-sq.co.jp/

生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手

☎222-0033

横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F

電話: 045(476)1105 (日曜・祭日休)

FAX: 045(476)1106

mail: info@a-sq.co.jp

(ご相談はメールでも受け付けています!)

私たちのオルタスクエア株式会社は 1998 年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。



アイデアのある間取り変更と自然素材の活用で実現

間取り変更リノベーション 2つの事例紹介

経年住宅を、生き活きと再生し、心豊かな生活の場として活かすことは大事なテーマです

生活クラブの家づくり
オルタスクエア

鶴見区マンションH邸

洋室・キッチン・LDKをまとめて 広いワンルームにしました★

1



新ダイニング

若いご夫妻がマンションに移り住むにあたり、リノベーションのご相談をいただきました。これまで3つに仕切られていた洋室・キッチン・リビングダイニングの壁を取り払い、広いワンルームにしました。また、北側にあった和室と洋室も壁を取り払い、ワークスペース・寝室・ウォークスルークローゼットにしました。



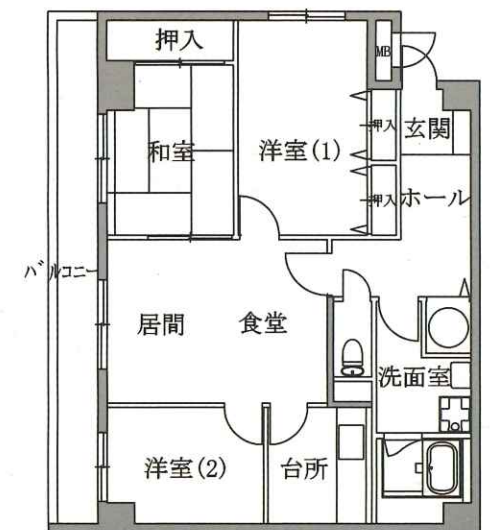
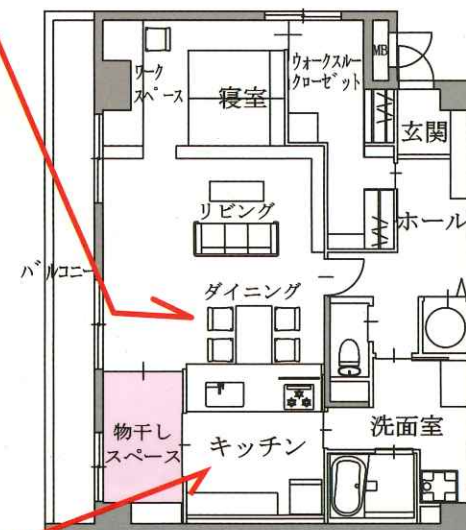
旧洋室



旧洋室



新キッチン



after <<<< before

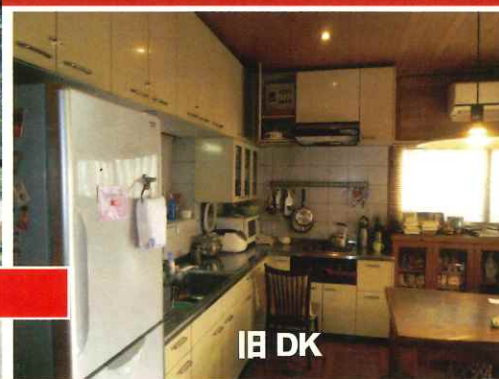
神奈川区Y邸

家族の学習・ワークスペースを つくるためにキッチンを移動★

2



新勉強部屋 ワークスペース



旧DK

親御さんから引き継いだ昭和の戸建て住宅。

現代のライフスタイルにあった住まいとするための、リフォームのご相談をいただきました。場所を取っていたL字型キッチンを撤去し、そこを子どもさんたちとYさんご自身のための学習・ワークスペースにしました。



新ダイニングキッチン



旧リビング



after <<<< before





オルタスクエアが設計する新築住宅は、国産木材による在来軸組工法の自然住宅です

無垢の木材や漆喰・珪藻土が持つ調湿機能や空気をきれいにする力がはたらく住まいの空間は、大人にとっても心が安らぎますが、できれば、体の神経系・免疫系などをどんどんつくっている最中の子どもたちに、この木の住まいに住んでもらい、化学物質の心配もなく、元気に育ってもらいたいと思っています。オルタスクエアの家は完成した時が 100%なのではなく、子どもたち家族たちの成長とともに、木の床や壁は深みのある色となっていき、一方、漆喰は 10 年 20 年経っても白さを保ち、その間に間仕切りで部屋をつくる時期があったり、子どもたちが巣立つとまた間仕切りをなくしたりと、変化していきます。

道路から下がった土地をうまく活かした子育て世帯の家

港南区 H 邸 (2012 年 3 月築)

敷地面積 196.98 m² (59.59 坪)・延べ床面積 84.46 m² (25.55 坪)

当社の新築設計に共感し、土地探しのご依頼をいただいていた H さんご家族。見つかったのは、前面道路から土地が下がっている敷地でしたが、日当たりがよく価格も手ごろでした。でも、本当にこの土地に自分たちが満足できる家が建つのでしょうか。建築士から出てきた設計プランを見たご夫妻は、よい家になることを確信して土地購入をすぐに決めました。そして完成したのがこの家です。



2 階に玄関があります



中二階の収納エリアが勉強スペース



太い梁が通っている一階の LDK

縦にも横にも自由に回廊を歩ける子育て世帯の家

港北区 M 邸 (2014 年 3 月築)

敷地面積 88.89 m² (28.89 坪) 延べ床面積 83.93 m² (25.39 坪)

3 人目のお子さんが生まれたのを機に新築を考え始めた M さんご家族。個室が多い家だと子どもたちが部屋に閉じこもってしまうのではないかとご心配があった時に、オルタスクエアの設計の考え方を知り、共感してご相談をいただきました。

設計打ち合わせにあたり、ご家族の希望を全部リストアップして建築士に渡したあと、希望が全部かなえられている設計プランが出てきたのでびっくりされたそうです。

以前住まれていた集合住宅では結露カビに悩まされていたのが、この「木の家」では全くなく、花粉の時期に室内で洗濯物を干してもよく乾くとのこと。



LDK。木の床は柔らかく
さらっとしていて心地よい



ウッドデッキから
2 階に上る外階段



2 階勉強スペースの上に
さらにロフト

懐かしい空間に包まれて子どもが育つ家

保土ヶ谷区 N 邸 (2019 年 8 月築)

敷地面積 226.91 m² (68.65 坪) 延べ床面積 85.19 m² (26.77 坪)

奥様の祖父母の家を引き継ぎお住いになっていた N さんご家族。傷みが進んできたので建て替えることになり、古民家の再生について調べながら、オルタスクエアの住宅見学会にも何回か参加。どの家にも個性があることに惹かれ、当社での設計のご依頼をいただきました。

完成した家は、屋根に三州瓦を葺いた平屋で、建て替え前の家で使われていた建具をできるだけ再利用しています。雨が多い日本では、瓦は雨音を抑え、雨漏りも防ぐ優れた建材。日本の伝統的な住まいの知恵と建材を活かした住宅は、「子どものまたその先の子どもたちのことも」考えた持続可能な住まいです。



元々お庭にある木を活かすように
設計したウッドデッキ



木の階段を上った先のロフトは
「家族の図書室」& 書斎



再生建具と広縁で快適環境に導く